

平成 30 年度第 1 回（第 12 回）子ども・子育て会議 議事要旨

日時：平成 30 年 9 月 27 日（木）13:30～15:00

場所：市民交流棟 2 階会議室 2

○委員出席状況

【出席】

公募市民

村上 智子

公募市民

内田 多重子

四国中央市民生児童委員協議会

富原 賀代

四国中央市立三島東幼稚園長

児山 初美

学校法人四国音楽学院理事長（緑ヶ丘、愛和認定こども園）

高橋 雅之

四国中央市立豊岡保育園長

久保田 早百合

社会福祉法人伊予三島福祉施設協会 東保育園長

高橋 尚子

育児サークル「リトル☆スター」「ツインチェリーズ」代表

石川 由加

桜ベンチャー四国中央

星川 光代

公立保育園民営化選定委員会委員

宮崎 政夫

四国中央市地区労働者福祉協議会

井上 俊正

【欠席】

NPO 法人につこりーの理事長

高原 茂

NPO 法人カノン代表

寶利 佳代

○事務局

福祉部長 加地宣幸

こども課長 藤田泰

こども課 脇寿司、鈴木健生、白木良文、高原健士朗

○傍聴者 なし

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 部長あいさつ

4. 委員自己紹介

5. 事務局自己紹介

6. 委員長及び副委員長の選出について

（委員）前回と同様に委員長を宮崎委員に、副委員長を星川委員にお願いしてはどうか。

(委員) 全会一致で了承

7. 議事

(1) 第二期子ども・子育て支援事業計画の策定について

(事務局) ニーズ調査等の計画策定スケジュールについて説明

—特段意見もなく了承—

(2) 地域型保育事業の利用定員について

(事務局) 家庭的保育事業等の認可と確認制度における利用定員について説明

(委員長) 大王製紙にある事業所内保育施設「GOO. Nすくすくはうす」はどうか。

(委員) もともと、大王グループ内のお子さんを預かる施設として開園した。現在は会社に勤める方のお子さんの利用で利用定員を満たしている状況。今後、地元の保育士さんの確保を頑張り、子どもの受入れ枠を増やしたい。

(委員) 四国中央市の待機児童の現状はどうか。

(事務局) 4月1日時点では、待機児童は0人である。様々な定義があり、保護者の自己都合で保育園を待機する場合は、待機児童には含まない。現在の四国中央市の保育園は、3歳以上の受入れ枠には余裕があるが、0.1.2歳児の受入れ枠は少ない状況にある。特に0歳児を受入れができる園に限られ、非常に受入れ数が少ない状態にある。

(事務局) ヤクルト保育園(仮)の認可及び利用定員について説明

四国中央市における待機児童の解消と更なる子育て支援の充実を図るため、小規模保育事業について認可予定。

(委員長) 「ヤクルト保育園(仮)」、「ひまわりハッピー保育園」と四国中央市の保育園との連携は行われているか。

(事務局) 現在の時点で連携は行っていない。早めに連携を取れるよう指導していきたい。

(委員) 連携とはどのようなことをするのか。

(事務局) 小規模保育においては保育士が少ないため、保育士の融通等を行う。保育士が不足しているときに、互いに保育サポートをするなど。

(委員) 愛和・緑ヶ丘認定こども園の中では園同士で保育士さんの連携は行っている。

(委員長) 事務局の方で、できるだけ早く対応してほしい。

—ヤクルト保育園(仮)は、了承—

(3) その他

(事務局) 平成31年度からの公立幼稚園の変更点と幼児教育の無償化について説明

(委員) 保育料無償化は年齢制限ないのか。

(事務局) 3才～5才および0才～2才の非課税世帯が対象となる。

(委員) 土居地域の0歳児の受入れは、なぜ少ないのか？また、HITO病院の事業所保育施設「HITOKIDS」は無償化されるのか？

(事務局) 土居地域で、0 歳児を受け入れできる保育園は、アンジェリーナ保育園のみ。「HITOKIDS」は認可外の保育園になります。無償化になるのは非課税世帯のみ。

(委員) H30年の出生数がなぜ極端に落ちているのか。

(事務局) 現時点では原因は不明。次回までに調査する。

(委員長) 少子化対策として、配偶者控除の代わりに子どもの数に応じた育児手当などを充実すべきかもしれない。

(委員) 大王製紙も子どもを産みやすい環境にするため、保護者に手当等を実際に増やしている。第3子出産で100万円が支給される企業もある。

(委員) 多くの子を出産している家庭も多いと感じるが子どもがいない家庭も増えている。

(委員長) いろいろな子育て支援を市がもっとアピールして人口を増やすべき。

(委員) みしま乳児保育園の園庭開放やホールを使って、子育て支援のサークルをしていたが、工事の関係でできなくなり、現在は中之庄公民館を借りて週2回ほど子育て支援サークルを開いている。

(委員) 孫を上分保育園に入園させるつもりが、松柏保育園になった。そういったときに、保育園の一時預かりやにこころルームなどが非常によいと感じた。公民館事業とも連携をできたらいいと思う。

(委員) 一時預かりや子育て支援のサークル活動について、喜んでいる母親は多い。四国中央市の子育て支援は充実しているという声を聞く。

(事務局) 次回の子ども子育て会議は年度末に開催の予定。